

## 会 議 要 旨 (概要)

会 議 名	平成23年度第1回館山市地域公共交通会議
開 催 日	平成23年6月29日(水) 午後3時30分～午後4時50分
開 催 場 所	館山市役所本館2階会議室
出 席 者	[委員] 15名 [事務局] 市長公室長 企画課長 企画課副課長 政策係長 企画課職員
公 開 ・ 非 公 開 の	原則公開
傍 聴 人 数	2名
発言者等	発言要旨(概要)等
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付(人事異動に伴う委嘱替え) (委員及び事務局自己紹介)</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 議事 【報告事項】 (1) 観光棧橋線の利用実績について (説明) 路線バスの観光棧橋線に関係することから季節運航した高速ジェット船の利用状況を先に説明する。 館山と伊豆大島などを結ぶ高速ジェット船は、2月5日から4月3日までの間、季節運航を行った。2月と、3月初めまでについては、昨年を越える利用となっていたが、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、3月11日以降の利用者が激減し、昨年の8割となった。 具体的には、海のフラワーラインとして、館山・大島・下田航路を開設した、3月6日までの値で比較することができる。平成23年の利用者は8,134人であり、前年の7,841人を293人上回っている。 最終的な結果は、9,565人で、前年の11,761人と比較すると、2,196人の減少となった。 次に、高速ジェット船の季節運航にあわせて、路線としては、はじめて運行した観光棧橋線の利用状況について説明する。 この観光棧橋線は館山日東バス株式会社により、館山駅西口と渚の駅(旧安房博物館)を結ぶ片道1.34キロメートルの路線で、運賃は片道大人150円、こどもは80円となっている。 利用状況については、高速ジェット船の季節運航にあわせて2月5日から4月3日までの58日間のうち、56日間で総運行便数164便を運行した。総輸送人員(総利用者数)は、326人となっており、1日あたりでは5.6人、1便あたりでは2.0人という結果であった。 現在は、6月20日から29日までの平日の8日間、高速ジェット船の試験運航にあわせて、本日が最終運行日となっておりますが、観光棧橋線が運行されている。</p>

館山日東バス(株)	(補足説明) 館山駅西口から渚の駅間の高速ジェット船専用路線でございまして、高速ジェット船の運航が東京からの運行であるので、主たるお客様が東京方面からであり、どちらかという地元の利用客は少ない状況の中で、数字的には不満足であるがこのような結果でありました。
委員I	2月14日館山駅発(8:50)に40名が乗車となっているが、あの(小型)バス1台で足りましたか。
館山日東バス(株)	事前にツアー企画の連絡がありまして、予定していた車輛では対応できないことから、急遽車輛を変更して運行したという状況でございます。
事務局	<p>(2) 豊房線について</p> <p>(説明) 豊房線については、館山日東バス株式会社において、館山駅から豊房・神余を経由して、南房総市の安房白浜まで運行している片道13.8キロメートルの路線です。館山駅から安房白浜の間には、26箇所のバス停があり、所要時間は片道30分、運賃は150円から580円の設定となっている。</p> <p>この豊房線については、千葉県バス対策地域協議会の生活交通維持・確保計画に位置付けられている路線であり、利用者の減少に伴いまして、昨年度、路線の廃止の協議が千葉県バス対策協議会に対し出されました。この路線は、通勤、通学など地域住民の移動手段として、又館山市を訪れた観光客等の目的地へのアクセス手段としての必要不可欠な路線であると認識しております。</p> <p>路線廃止の旨の協議申し出がありましたが、館山市としては、沿線地域住民の生活路線として必要不可欠であることから、関係自治体と調整を図り、連携して運行を維持していくこととなっています。</p> <p>豊房線のみならず、市内の各バス路線については、利用者の増加を図ることが最も重要なことであり、機会をとらえて、この公共交通会議の場で、利用促進につきまして、議論を進めていきたいと思っております。</p>
委員N	資料では平成23年3月31日で廃止となっているが、現状はどうなっているのか。
事務局	現状は路線が維持され運行している。国・県の補助となっていないため、南房総市とともに維持することとなっている。
委員G	補助を受けて維持する以外の手段は考えていないのか。
事務局	2市の地域を運行している地域住民の生活路線として必要なバス路線であるので、他の方法(手段)ではなく、引き続き館山日東バス株式会社において路線バスの運行をお願いしたいと考えております。又、当然ながら、国・県補助の復活のため、昨年12月には市職員向けに、2月には地域住民に対して、町内会の回覧で路線バスの現状と利用促進を周知したところです。
委員H	補助対象だったということで、補助金はいくらだったのでしょうか。
事務局	これまでの豊房線に対する国・県の補助金額については把握してないが、今後国・県の補助がなされなかった場合においては、運行に係る経常損失に対して2市で補助していくもので、赤字の6割を限度に補助しようとするもので、その試算は年約149万でございます。

	<p>【意見交換】</p> <p>(1) 公共交通の現状等について</p>
館山日東バス(株)	<p>日東ニュースについて説明いたしますが、高齢者の交通事故が増加していることから、警察署と協定を結びまして、65歳以上の方が免許証を返納した場合に、ノーカー・サポート優待証を交付して、路線バスが半額になるサービスを7月1日より開始します。</p> <p>房日新聞等でも掲載されましたが、日東グループ4社、日東交通(株)、館山日東バス(株)、鴨川日東バス(株)、天羽日東バス(株)で実施することになっております。</p> <p>申込み手続きは、ノーカー・サポート優待証申込書に記載していただきます。この際に公安委員会発行の運転免許の取消通知書、証明写真を持参していただき、発行手数料500円を負担していただきます。なお、受付は6月30日から行います。</p>
委員B	<p>日東バスとJRバスと一緒に実施するわけですが、日東バスの優待証でJRバスに乗れないか。また、JRバスの優待証で日東バスに乗れないか。何かうまい調整方法はないか。パスモとスイカが両方使えるように、共同でやるのもあるのではと思う。利用者が両社の路線を利用するのであれば、両社の優待証で相互に利用できるよう、ご検討いただければと思う。</p>
館山日東バス(株)	<p>日東グループ4社で共同実施するわけであるが、JRバス関東さんと調整が必要であるので、今しばらくお時間をいただければと思います。</p>
委員G	<p>この優待制度は、高速バスは含むのですか。</p>
館山日東バス(株)	<p>高速バスは含まない。また、コミュニティバス、一部路線バスは含みません。</p>
JRバス関東(株)	<p>JRバス関東でも、運転免許証の返納による路線バス半額の優待制度を、日東さんと同様に実施します。先ほど千葉運輸支局の池田委員さんの件ですが、館山支店内で優待証が1枚でできないものか話し合ったことがある。白浜とか千倉とかくらいであれば、できる可能性があるのかもしれないという考えは持っている。</p>
館山日東バス(株)	<p>本音を申し上げれば、半額サービスは半分の額を会社が負担するわけなので、その辺の状況があると思う。</p>
JRバス関東(株)	<p>優待証は6月28日から発行しておりまして、現在のところ3名の方に交付している状況でございます。なお、房日新聞に掲載して以降、問い合わせも多数いただいているところです。高齢者の方で運転免許証を返納して路線バスに乗車したいというお客様がいるのだと確信しております。この優待制度で高齢者の事故の減少にお役にたてればという気持ちで取り組みますので、よろしくお願いします。</p> <p>生活路線バスは徐々に下向きになっていきますので、少しでも多くのお客様に乘車していただけるよう、しっかり進めていきたいと思っております。</p> <p>東京行き的高速バスは、7月1日ダイヤ改正して本数を増便します。現行平日は25便の運行ですが、土日祝は30便に増便して運行、また、お盆の8月11日から21日の間は33便の体制で運行します。</p>
館山日東バス(株)	<p>日東グループでは、運転免許証の返納による路線バス半額の優待制度については、6月30日から受付を開始いたしますが、現在までのところ、電話での問い合わせや窓口での対応があります。</p>
委員Q	<p>運転免許証の返納による路線バス半額の優待制度については、基本的には日東さんとJRさんが紹介していただいたとおりでございますが、高齢者の運転免許証の更新状況</p>

	<p>をみると、自動車を運転することが若干心配な方もいらっしゃることから、5署（木更津・君津・富津・館山・鴨川）で調整して、また、日東さん、JRさんをお願いしてこういう取り組みになったわけです。</p> <p>運転免許を自主返納すると取消通知書を受け取るわけですが、この時に希望により運転経歴証明書の交付申請をすることができます。</p> <p>警察では、運転に自信がない方や危険を感じている高齢者の方に対して、運転免許の自主返納がしやすい環境作りが必要であると考えております。そのためには、こうした交通機関の割引制度や地域ぐるみでのサポートが必要であると考えております。</p> <p>こうした中で運転免許証を身分証明書として使用している方もおり、現在、運転経歴証明書は交付した後、金融機関で事務手続きをする場合、発行日から6か月以内、若しくは有効期間内の身分を証明できるものの提示（犯罪による収益の移転防止に関する法律）を求められる手続きなども出てくるのですが、こうした場合、運転経歴証明書は、交付から6か月を過ぎていると身分証明書としての利用ができない場合が出てきます。</p> <p>そこで警察としては、既に県内では実施しているところもありますが、館山市、南房総市、鋸南町に高齢者の運転免許の自主返納に対する住民基本台帳カードの交付時の手数料割引を御検討いただきたいと考えております。</p> <p>こうしたことで、高齢者の方で運転に自信がない方や危険を感じている方で運転免許証を身分証明書代わりにしている方に、より運転免許の自主返納がしやすい環境が整うものと思っております。</p>
委員O	<p>ノーカー・サポートをやるにあたって、運転免許を持っていない高齢者は、運転免許証の返納による路線バス半額の優待制度は利用できないのか。車での事故もあるが、自転車での事故もあるので、全体的に65歳以上のシルバーとなる高齢者が対象とならないのですか。</p>
館山日東バス(株)	<p>高齢者の運転事故が多いということをとらえた中でスタートしているので、すべて高齢者が対象というわけではありません。</p>
委員Q	<p>運転免許証を持っていない高齢者は、個々に便に違いはありますが、家族や近所などのいろいろな方の協力や自身の工夫で日常生活の移動手段としてのある程度の生活基盤ができています。</p> <p>一方、高齢運転者の中には、これまで自分が運転して好きな時に好きな所に移動するというライフスタイルが出来ているため、こうした優遇措置により自主返納しやすい環境作りが必要であると考えています。</p>
館山日東バス(株)	<p>要するに、返納しやすい状況を作る取り組みです。</p>
議長	<p>タクシーのほうの割引の対応はどうか伺いたい。</p>
委員I	<p>公共交通であるバスが半額なら、タクシーもと、いずれ聞かれるかなと思っていましたが、バス運賃の半額はタクシーの運賃制度からすると難しいと思う。高齢者の交通事故の取り組みとしては理解もできるが、事業として維持するには、売上が下がることは運転手さんにも影響するだろう。運転免許証の返納者に対して1割引きというのはタクシーの事例があると思う。運賃に関しては、難しいと思う。</p>
委員Q	<p>目的地まで相乗りで行くという運行をしているケースがある。こういう方法はいかがか。</p>
委員G	<p>この件については、運賃の問題があるので、千葉運輸支局の池田さんが専門なので、</p>

	<p>お話ししてもらったらいかがか。</p> <p>館山市は観光立市ということですが、公共交通へ求めるものが市としてはどういう方向性・提案を持っているか流れてはいないのでないか。</p>
事務局	<p>地域の公共交通全体的プランのことだと思いますが、市として実態を把握することが基本的なこととして大事であると考えており、利用者の声を参考にしていきたい。</p>
委員G	<p>南房総市でデマンド乗合タクシーの試行運行を行っているが、豊房線についても、補助して運行する考えだけではなく、他の手段にどのようなものがあるか考えて、交通手段を設けることが必要ではないかと思います。</p>
事務局	<p>デマンド交通など新たな交通を導入する考えは最近他の自治体で多くなってきていることは承知しております。館山市ではまだ踏み込んではいないわけですが、財政的なことも含めて総合的に考える必要があると思っております。</p>
委員G	<p>館山市に二勝三景っていうのがありますよね。2つの景勝地の3つの景色。ご存知ないですか。八幡の夕風、汐入川のとうみの富士、城山の秋の月、崖観音の夕映え、花的那古観音、この5つがある。この活用が観光立市を言っているができていないように思う。一般の方に知ってもらう必要があるし、活性化につながると思う。</p>
議長	<p>観光立市館山には重要なことでありますので、市民全体が館山知らずして人に館山を語れないので、事務局は担当部門に伝えてください。</p>
委員N	<p>夏のJRダイヤで特急を往復増やすということです。お盆期間に2本増便し合計4本を増やす。これが今後の特急の運行についての目安として多分最後ではないかと思う。そのためには、お客様がいかに乗ってもらえるかだと思う。高速道路も一律になったので、南房総に公共交通機関を利用してお客様が来るか、JRは様子をみたいということで、このような情報を伺っている。</p> <p>館山の海水浴場が大丈夫と、PRしていただいたので、レンタカーについては、お問い合わせがきている。</p> <p>また、宿泊業者は相当困ってしまして、相談を受けまして、駅レンタカーとトヨタレンタカーで、2割引の商品を作って提供させていただきました。休暇村さんなど、インターネットで紹介させていただきました。結構ご利用が増えております。</p> <p>駅レンタカーとしても、今後JRとタイアップし各種の割引をかけてお客様を誘致したいと思っております。</p>
委員H	<p>南房総市で外出支援券を、障害者割引とは別ですが、福祉券みたいなものですが、館山市では発行を検討してもらえないでしょうか。</p> <p>例えば1,000円の運賃に対して、670円が外出支援券で、その差額330円が利用者負担となります。つまり670円が市の負担となっています。</p>
事務局	<p>詳細を把握していないが、福祉部門に情報提供します。</p>
委員L	<p>豊房線の厳しい状況は、西岬方面にも同様のことが言えることで、関係があることなので、これから路線バスの状況がどうなるのか、自宅の前はJRバスが通っているのを見ていない時のほうが多いんですよね。このことを思うと将来どうなるのか考えた時に、地域の住民の足をどのようにサポートしていくか重要な問題だと思う。</p> <p>自分の地区を考えた時にどうかということであるが、伊戸地区は世帯83世帯、就業構成は、農漁業5割、勤め人1割、無職2割、その他1割くらいで、そのほかに別荘が</p>

<p>委員B</p>	<p>10件くらいある。70歳以上は50%、65歳だともっとあがるが、自動車の保有は大雑把ではあるが、83世帯のうちの80%持っているので、これによって日常生活を満たしているということで、バスの利用が少なくなってしまう。車を持っていない方は持っている人に頼んで買い物や通院をしている。週1回は買物移動バスが来て利用している状況です。</p> <p>今後バスやその他の交通手段がどのようになっていくか関心がある。</p> <p>先ほど話が出ていた、乗合タクシーの話ですが、基本的なタクシーの運賃料金はメーターで運賃の支払いが決まっております。乗合タクシーはタクシー事業とは別な許可をとってやります。いろいろな条件やルートを決めてやらなくてはいけないということがあります。事業者主体で乗合の運行をすることは難しい。例えば大きな団地があってそこと駅と結ぶ時、セダン型でも4人、3人以上乗ることがわかっているれば、運賃料金が設定しやすいので、交通事業者も乗合運行がやりやすいのかと思う。</p> <p>南房総市でもデマンド型の乗合をやっているが、エリアが広範囲で、どのくらいの運賃を設定するかは交通事業者側では判断つかないので、自治体が交通事業者に運行委託することによって、運行経費を補填しないと、継続できないのが現状のようです。</p> <p>バスとタクシーとが共存・共栄するかが出てくると思うが、各自自治体のほうで、バスでいいかタクシーでいいのか、身の丈にあったものとする。</p> <p>バスからタクシーに急に転換することは、地元の住民の方にもなかなか納得していただけないこともありますし、そういうひとつのシンボリックなものになっていいのかということもありますし、そこは地元の皆さんが知恵を結集していただいて、どう継続していくのか、どうしたら利用が伸びるのかを考えて、残すものは残す、新しいものにかえることは新しくかえるという議論をしていただければと思います。</p> <p>福祉施策の話ですが、各自自治体でタクシーの利用券など、福祉施策上でいろいろやっているの、事務局側も庁内横断的にというか、福祉部局の方、道路専門の方、学校関係の方が公共交通会議に参画していただいて、風通しのよい話ができればと思っています。</p> <p>タクシーや路線バスについて、身障者の方に対して割引をしているが、事業者自ら政策的に割引をしているものでありまして、どこからの補填も受けていないのが実態でございます。事業者自らが利用者促進のために割引率を設定して実施しているのが実態で、このことを事業者側も宣伝していただければと思う。</p> <p>今回大英断で、日東グループさん、JRさんが運転免許証の返納者に対して5割を自ら補填するという事です。</p>
<p>事務局</p>	<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通に関する館山市広報掲載記事について</li> </ul> <p>(説明) 公共交通に関する館山市広報「だん暖たてやま7月1日号」の掲載記事ですが、このことにつきましては、市内バス路線の現状を踏まえ、沿線の地域住民が利用していただくことが最も重要であることから、利用促進の観点から継続して周知することが必要であると考えており市の広報に掲載するものです。また、あわせて高齢運転者の交通事故防止のため、運転免許証の自主返納者に対する優遇制度を紹介し、日東グループ各社とJRバス関東による優遇サービスの取り組みを館山市広報に掲載して周知します。</p> <p>6 閉会</p>